

「中部地方を襲った昭和の豪雨災害パネル展」を開催

令和7年6月15日（日）、OKB岐阜中央プラザ わくわくベースG（岐阜市柳ヶ瀬グラッスル35 1階）で、「もしもに備える！ナルホド防災教室」と題したイベントと、今年が「昭和100年」にあたることから、伊勢湾台風や9.12豪雨（安八豪雨）など、昭和に中部地方を襲った豪雨災害を紹介したパネル展を開催しました。

このイベントは、当協会とOKB大垣共立銀行の共催、木曽川上流河川事務所の協力で実施しました。会場では、「伊勢湾台風A1語り部との対話」や、「浸水体感VR」、「防災カードゲーム」などの体験、木曽川上流河川事務所による「9.12豪雨災害動画」の上映などがあり、小雨が降る生憎の天気でしたが、約100人の市民の方々が会場を訪れ、体験やパネルを通して防災への知識を深めていました。

当日は、NHK・CBCテレビ・中日新聞・岐阜新聞の取材もありました。

なお、パネル展は、7月11日（金）まで、引き続きこの会場で開催しています。

